

平成30年度 琵琶湖活用関連事業

資料2-5

琵琶湖環境対策特別委員会 資料
平成30年(2018年)3月15日
琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課

予算額 7,080百万円 合計140事業【「知る」60「関わる」77「続ける」88】

※うち、新規事業10事業



琵琶湖保全再生計画の重点取組：
「保全再生と活用の更なる循環の推進」

琵琶湖と暮らしとの関わりが希薄になる中、琵琶湖やそれを取り巻く滋賀の自然本来の恵みを活かすことで、琵琶湖に関わる人を増やすとともに、関連の産業の振興により、琵琶湖の保全再生を推進

平成29年度策定：「(仮称)琵琶湖保全再生に向けた活用のあり方 ～保全再生と活用との循環の推進に向けて～」

《知るしくみ》

琵琶湖や滋賀の自然が有する価値や魅力、森川里湖のつながりを発信

《関わるしくみ》

琵琶湖やその周囲の自然と体験を通じて関わる機会の提供や、ネットワークの拡大

《続けるしくみ》

活用のための場づくりや基盤整備、活用を持続可能なものにするためのしくみづくり

平成30年度 主な関連事業の例

新琵琶湖博物館創造推進事業【11】 (27,950千円)

■琵琶湖博物館のリニューアル効果を高めるため、企業等と連携した認知度の向上や教育旅行のプロモート等の取組を実施

ホームページ「今日の琵琶湖」設置事業【30】 (ゼロ予算事業)

■琵琶湖の水質や水草の繁茂状況等広く県民に伝え、共有するための情報を発信

滋賀・びわ湖ブランド推進事業【1】 (213,589千円)

■情報発信拠点「ここ滋賀」等を運営し、自然や琵琶湖の情報を含む滋賀の魅力を発信

【新】全国植樹祭開催準備事業【67】 (12,100千円)

■森林・緑に対する国民的理解を深める全国植樹祭の2021年度本県開催に向けた準備を進める。

びわ湖のめぐみ消費拡大PR事業【95】 (19,346千円)

■「琵琶湖八珍」をはじめとする湖魚をより身近に魅力的に感じることのできる機会を創出し消費拡大・ブランド化を図る。

「びわ湖の日」活動推進事業【39】 (15,118千円)

■7/1「びわ湖の日」を起点とした「(仮称)びわ活」期間を設定し、琵琶湖に関わる活動等にいざなうための情報発信を実施

【新】琵琶湖活用の更なる広がりづくり事業【33】 (400千円)

■琵琶湖活用の推進に向け、経済団体や関連業界団体等、多様な主体の参画による「(仮称)琵琶湖活用推進会議」を発足し、啓発や協働の推進を図る。

【新】おもしろ下物(おもしろ)ピオトープ水辺のにぎわい創生事業【24】 (26,366千円)

■環境教育の場としてピオトープ拠点を整備し、自然と触れ合う機会を創出

エコツーリズム推進支援事業【36】 (3,800千円)

■楽しみながら自然の価値や暮らしとのつながりを学ぶエコツーリズムの推進を支援

しがスポーツの魅力総合発信事業【5】 (7,500千円)

■日常的にスポーツを楽しむことに向け、湖上スポーツを含む滋賀のスポーツの魅力を総合的に発信

マザーレイクフォーラム推進事業【34】 (1,800千円)

■多様な主体のつながりを育むとともに、ML21計画の進行管理等を行うマザーレイクフォーラムを推進

びワイチ観光推進事業【89】 (19,817千円)

■「びワイチ」を誰もが楽しめるコンテンツとして確立させ、県内全域への自転車による周遊観光を推進

びわ湖フローティングスクール事業【133】 (260,049千円)

■県内の小学5年生を対象に、琵琶湖を舞台に学習船「うみのこ」による宿泊体験型の教育を展開

【新】みどりのみずへの将来ビジョン作成事業【126】 (20,000千円)

■琵琶湖周辺において保全・利用・活用するエリアを区分し、それぞれのエリアで琵琶湖の魅力を活かした利活用方策を検討

自然公園施設等整備事業【52】 (13,000千円)

■琵琶湖をはじめとする優れた自然を安全で快適に利用いただくため、自然公園の保全・活用に資する整備を実施

体験施設等の水草除去支援事業【28】 (6,000千円)

■琵琶湖の魅力発信と水草対策の推進を図るため、体験施設等が実施する湖中の水草除去に対して助成

琵琶湖レジャー対策費【29】 (26,615千円)

■琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例に基づき、琵琶湖での適正なレジャー利用を推進し、環境負荷の低減を図る。

散在性ごみ啓発事業【40】 (13,855千円)

■ごみの散乱防止のための啓発事業を実施

※主な事業例を、特に関連の深い「しくみ」の例で示したもので、多くの事業は複数の「しくみ」に該当します。

平成30年度 琵琶湖活用関連事業 一覧

- 知るしくみ 琵琶湖やその周囲の自然の価値や魅力、森・川・里・湖や下流までの一連のつながり、国際的な評価や、流域での個々の活動が琵琶湖に与える影響などの把握・発信・啓発
- 関わるしくみ 自然と触れる体験の機会を積極的に提供するとともに、そのような機会についての情報発信や、多様な関係者のネットワークを拡大し、関わりを持つ機会を創出・提供
- 続けるしくみ 自然に触れる場の確保や、琵琶湖を取り巻く産業の支援・振興、活用推進に向けた支援活用に伴う環境負荷や生活環境への悪影響への規制・啓発、ふさわしい応益負担の検討

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しくみ	関わる しくみ	続ける しくみ	
1		滋賀・びわ湖ブランド推進事業	滋賀の魅力を実際に見て、触れて、食べることができる体験型の発信を行うとともに滋賀への誘引の役割を担う情報発信拠点「ここ滋賀」を運営し、自然や琵琶湖の情報も含めた滋賀の魅力の発信と首都圏での滋賀ファンの裾野拡大と営業活動の強化を行う。	213,589	○	○		広報課
2		マザーレイク滋賀応援寄附PR事業	マザーレイク滋賀応援寄附条例に基づき寄附の受入れを行うとともに、制度の周知・PR活動を行う。	26,516			○	企画調整課
3		しがのNPO・協働情報発信「プラットフォーム」事業	多様な主体による協働を推進するため、情報共有化・情報交換のシステムや、政策形成段階における協働を推進するための仕組みの構築等を行う。	1,250	○	○		県民活動生活課
4		淡海ネットワークセンター支援事業	地域づくりやまちづくり、福祉、環境、文化等の様々な分野における県民の自主的な社会的活動を総合的に支援することを目的とする(公財)淡海文化振興財団の運営に必要な支援を行う。	50,308		○	○	県民活動生活課
5		しがのスポーツの魅力総合発信事業	県民が日常的にスポーツを楽しみ、生き生きと健康で暮らせる元気な滋賀を創造するために、湖上スポーツを含むスポーツの魅力を総合的に発信する	7,500		○		スポーツ局
6		国立環境研究所移転関連事業	平成29年4月に設置された国立環境研究所琵琶湖分室と連携して、新たな水質管理手法、水草の適正管理、在来魚介類のにぎわい回復に資する研究等を実施する。また、研究成果等を水環境ビジネスや琵琶湖漁業の活性化、琵琶湖の保全・再生につながる産学官金連携による取組を推進する。	134,338	○	○	○	環境政策課
7		企画調整費 (環境政策課)	滋賀県の環境白書作成に要する費用を計上する。	1,040	○	○		環境政策課
8		試験研究費 (琵琶湖環境科学研究センター)	平成29年度からの3か年計画である「琵琶湖環境科学研究センター第五期中期計画」に基づき、琵琶湖と滋賀県の環境に関する政策課題の解決を目的とし、水や大気、化学物質等の継続的なモニタリングと試験研究を推進する。	30,111	○		○	琵琶湖環境科学研究センター
9		広報支援費 (琵琶湖環境科学研究センター)	琵琶湖環境科学研究センターが取り組んでいる調査研究の成果や知見を県民等に還元するため、情報を発信する。	979	○			琵琶湖環境科学研究センター
10		琵琶湖講習 (琵琶湖環境科学研究センター)	各種団体・学校等からの要請に応じて、センターの調査研究で蓄積された知見を還元する。	0	○	○		琵琶湖環境科学研究センター
11		新琵琶湖博物館創造推進事業	博物館のリニューアルの効果を高め、利用者の拡大と定着を図るため、県民参加型交流会や移動博物館の開催等、県民やリニューアルの趣旨に賛同する企業等と連携して認知度向上の取組を行うとともに、教育旅行のプロモート等による誘客促進の取組を行う。	27,950	○	○		琵琶湖博物館
12		広報・企画調整事業 (琵琶湖博物館)	琵琶湖博物館協議会および琵琶湖博物館の広報にかかる事務を行う。	2,572	○	○		琵琶湖博物館
13		研究事業 (琵琶湖博物館)	琵琶湖の生成や、琵琶湖と人々の関わりに関する研究に取り組むとともに、琵琶湖地域の自然、歴史および暮らしの研究・調査を総合的に推進する。	23,293	○		○	琵琶湖博物館

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しくみ	関わる しくみ	続ける しくみ	
14		資料整備事業 (琵琶湖博物館)	資料整備および水族等飼育にかかる事務に要する費用を計上する。	98,539	○			琵琶湖博物館
15		展示事業 (琵琶湖博物館)	研究・調査の成果や地域に根ざした身近な話題を材料として、人と自然(琵琶湖)との関わり等について展示を行う。	74,836	○	○		琵琶湖博物館
16		展示交流空間再構築事業 (琵琶湖博物館)	「新琵琶湖博物館創造基本計画」に基づき、第2期リニューアルとして交流空間の再構築を行うため、樹冠トレイルやディスカバリールーム、おとなのディスカバリー等の整備・改修を行う。また、第3期リニューアルとしてA展示室およびB展示室に係る展示設計を行う。	331,679	○	○		琵琶湖博物館
17		情報事業 (琵琶湖博物館)	琵琶湖博物館の情報システムの維持管理および図書室の運営にかかる事務に要する費用を計上する。	17,903	○	○		琵琶湖博物館
18		交流・サービス事業 (琵琶湖博物館)	琵琶湖博物館において行う各種交流事業にかかる事務に要する費用を計上する。	1,492	○	○		琵琶湖博物館
19		環境学習センター事業	滋賀県環境学習の推進に関する条例および「第三次滋賀県環境学習推進計画」に基づき、体系的・総合的な環境学習を推進する。	2,928	○	○	○	琵琶湖博物館
20		地域支援活動 (琵琶湖博物館)	各種団体、学校等からの依頼に応じて、博物館内外において、博物館学芸員がその専門知識を生かした県民向けの講義を行う。	0	○	○		琵琶湖博物館
21		早崎内湖再生事業	干拓や埋立てなどの開発により多くの内湖が失われ、琵琶湖の生態系へ大きな影響を与えたことから、内湖再生のモデル事業として早崎内湖を再生し、琵琶湖生態系を支える生物多様性を高める内湖機能の再生や環境学習の場としての活用を地域と協働で推進する。	84,876	○	○	○	琵琶湖政策課
22		水質評価指標としてのTOC等導入に向けた調査研究事業	琵琶湖の新たな水質評価指標としてのTOC等の導入に向けた調査研究および検討を進め、生態系保全を含めた新たな水質管理手法を確立し、全国の湖沼水質管理におけるモデルとなるよう情報発信を行う。	35,575	○			琵琶湖政策課
23		湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信	第17回世界湖沼会議への参加等を通じて、琵琶湖における取組を世界に向けて発信し、国際貢献を行うとともに、世界の湖沼関係者等との関係構築や情報収集、ビジネスへの展開等を図る。	3,828	○	○		琵琶湖政策課
24	新規	おもしろ下物ビオトープ水辺のにぎわい創生事業	下物ビオトープを南湖におけるビオトープ拠点として整備し、自然と触れ合う場を創出することで、環境教育の機会を充実させるとともに、周辺施設等との連携により烏丸半島の活性化を図る。	26,366		○	○	琵琶湖政策課
25		公共用水域水質モニタリング事業	公共用水域(琵琶湖・河川)の水質の状況を把握するため、モニタリング等をおこなう。	24,934	○			琵琶湖政策課
26		ヨシ群落保全管理事業	琵琶湖のヨシ群落の保全を図るため、維持管理やヨシ帯の造成を行うとともに、将来の健全なヨシ群落の維持管理を担うヨシ刈りボランティア等の活動を促進するため、活動に対する支援を行う。	17,000			○	琵琶湖政策課
27		水草等対策技術開発支援事業	企業や大学等から、水草等の除去や有効利用について新たな技術等の提案を募集し、開発や研究等の支援を行うことで、水草等対策の高度化を図る。	10,800			○	琵琶湖政策課
28		体験施設等の水草除去支援事業	県外に向けて琵琶湖の魅力を発信し、そのブランド力向上と水草対策の推進を図るため、多数の集客が見込まれる体験施設等が実施する湖中の水草除去に対して助成を行う。	6,000			○	琵琶湖政策課

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しくみ	関わる しくみ	続ける しくみ	
29		琵琶湖レジャー対策費	琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例に基づき、琵琶湖での適正なレジャー利用を推進し、環境負荷の低減を図る。	26,615			○	琵琶湖政策課
30		ホームページ「今日の琵琶湖」設置事業	平成28年6月から開設しているホームページ「今日の琵琶湖」において、琵琶湖の水質や水草の繁茂状況等、今の琵琶湖の状況について広く県民に伝え、共有し、琵琶湖の総合的な保全に向け一丸となって取り組むためのツールの1つとして活用する。	0	○			琵琶湖政策課
31		「琵琶湖は今」出前講座事業	滋賀県および琵琶湖の環境や保全の取組などについて、県民の依頼に応じた内容で県職員が出前講座を行う。	0	○	○		琵琶湖政策課
32	新規	琵琶湖保全再生推進事業	琵琶湖の保全再生に向け、国や下流府県市と琵琶湖の現状・課題を共有しつつ施策の推進にかかる連携を深化する。また、琵琶湖保全再生計画やマザーレイク21計画の進捗管理および関連施策推進にかかる検討を進めつつ、法や基本方針の改定を見据え、これまでの保全再生にかかる取組の評価や課題整理を行う。	2,998	○	○	○	琵琶湖保全再生課
33	新規	琵琶湖活用の更なる広がりづくり事業	琵琶湖活用の推進に向け、多様な主体による「(仮称)琵琶湖活用推進会議」を立ち上げ、活用推進に向けた啓発や協働の推進を図る。	400	○	○		琵琶湖保全再生課
34		マザーレイクフォーラム推進事業	多様な主体が琵琶湖を守るという思いと課題を共有し、団体・地域・分野を超えたつながりを育むとともに、「マザーレイク21計画」の進行管理および評価・提言を行う場となるマザーレイクフォーラムを推進する。	1,800	○	○		琵琶湖保全再生課
35		びわ湖まちかどむらかど環境塾事業	琵琶湖の現状や「マザーレイク21計画」、「琵琶湖保全再生施策に関する計画」等を県内の各地域で紹介し、琵琶湖の総合保全について、より多くの県民に考えてもらうため、『びわ湖まちかどむらかど環境塾』を実施する。	244	○	○		琵琶湖保全再生課
36		エコツーリズム推進支援事業	エコツーリズムの推進に向けて、市町等とのネットワークを通じた情報の共有・発信等を行うとともに、全国の学生等が参加するシンポジウムやエコツアーにかかるガイド育成講座を実施する。	3,800		○		琵琶湖保全再生課
37		体系的な環境学習の推進	幼児の自然体験型環境学習や小学校におけるエコ・スクールの実践の支援、学習教材の作成を行うなど、体系的・総合的な環境学習の推進を図る。	2,912	○	○		琵琶湖保全再生課
38		県内大学生等への琵琶湖体験の機会提供	琵琶湖の魅力を体験する湖上ツアーを大学との連携により実施し、学生に琵琶湖に触れるきっかけを提供する。	884	○	○		琵琶湖保全再生課
39		「びわ湖の日」活動推進事業	「びわ湖の日」を起点とした一定の期間を設定し、多様な主体と連携して琵琶湖と関わる活動等にいざなうための情報発信を行う。	15,118	○	○	○	琵琶湖保全再生課
40		散在性ごみ啓発事業	ごみの散乱防止のための啓発事業を実施する。	13,855			○	循環社会推進課
41		環境保全県民活動支援事業	琵琶湖をはじめとする湖国の優れた自然環境を保全し、かつ積極的に環境美化を図ることを目的として、県民、事業者等と一体となった環境美化運動を推進する。	5,195			○	循環社会推進課
42		低炭素社会づくり学習支援事業	低炭素社会づくりに関する環境学習を推進するため、学校や地域において、低炭素社会づくりに関する講座を実施する。	2,700	○	○		温暖化対策課
43		山を活かす巨樹・巨木の森保全事業	水源の森に残されてきた巨樹・巨木林を保存するために実施される保全活動、周辺整備等に対する支援	2,520	○	○	○	自然環境保全課

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しくみ	関わる しくみ	続ける しくみ	
44		湖国の森林と自然を守る ニホンジカ特別対策事業	滋賀県ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画で定める捕獲目標を達成し、農林業や森林生態系への被害を軽減	116,227			○	自然環境保全課
45		鳥獣被害防止緊急捕獲 活動支援事業	野生鳥獣の個体数増加に伴い深刻化している農業被害、森林生態系被害を防止するために被害防止計画に基づき市町が捕獲を実施	99,356			○	自然環境保全課
46		指定管理鳥獣捕獲等事業	ニホンジカの捕獲を拡大するため生息密度が高く高標高域で捕獲を実施	14,546			○	自然環境保全課
47		ニホンジカ広域管理 捕獲実施事業	市町の取り組みのみでは捕獲の推進が困難であり、森林生態系への影響が深刻化している地域においてニホンジカの捕獲を実施	8,500			○	自然環境保全課
48		地域ぐるみ捕獲推進事業	市町等が、狩猟免許を持つ者と持たない者の役割分担によるニホンジカの捕獲を実施することに対する助成	2,000			○	自然環境保全課
49		森林動物行動圏調査	ニホンジカ等の野生生物の生息密度や行動圏等の調査の実施(ニホンジカ分)	3,500			○	自然環境保全課
50		しがジビエ活用拡大事業	増えすぎた野生鳥獣の捕獲の必要性について県民の理解を深めるとともに、地域資源の利用による地域振興に役立てるため、捕獲鳥獣の食肉利活用推進のための普及啓発を行う。	3,650	○	○	○	自然環境保全課
51		希少野生生物生息状況調査	野生生物が直面する危機をモニタリングして、5年ごとにレッドデータブック「滋賀県で大切にすべき野生生物」を見直すため、状況追跡が必要な野生生物の調査を随時実施	3,000	○	○		自然環境保全課
52		自然公園施設等整備事業	自然公園の保全・活用に資する整備を実施する。	13,000			○ ○	自然環境保全課
53		生物多様性しが戦略の 展開事業	自然観察会、獣害・森林・外来種の学習会等を実施する。また、生物多様性保全活動を推進するために、多様な主体の連携・協力にかかる支援を行う。	11,979	○	○		自然環境保全課
54		ラムサールびわっこ大使事業 (ラムサール条約の普及啓発)	県内小学生から「ラムサールびわっこ大使」を公募して、環境に関する国際会議等を経験させる。	1,900			○	自然環境保全課
55		地域森林計画編成事業	民有林に係る地域森林計画の樹立	6,810			○	森林政策課
56		森林整備地域活動支援 推進交付金	交付金事業執行に伴う市町事務費支援	36			○	森林政策課
57		しがの林業・木材産業 強化対策事業	森林組合マネージメント強化、木材流通コーディネータ設置支援、県産材生産ネットワーク構築支援、県産材販売促進支援、アクションプラン策定	21,646			○ ○	森林政策課
58		未来へつなぐ木の良さ 体感事業	木の良さを体感する機会を県民に提供し、びわ湖材普及に努め、森林資源の循環利用の促進を図る。	119,653	○	○	○	森林政策課

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しきみ	関わる しきみ	続ける しきみ	
59		林業労働力確保 支援センター事業	雇用管理の改善や事業の合理化等の取り組みを林業労働力確保支援センターを通じて行う。	140			○	森林政策課
60		林業労働安全衛生 総合対策事業	林業・木材製造業労働災害防止協会滋賀県支部が行う取り組みを支援する。	2,149			○	森林政策課
61		林業雇用環境改善事業	雇用管理の改善や担い手育成などを行う森林組合等を支援する。	5,800			○	森林政策課
62		協働の森づくり啓発事業	広報誌の発行、交流会の開催、地域普及啓発活動の実施など	14,899	○	○		森林政策課
63		みんなの森づくり 活動支援事業	県民が森林づくり活動に参加できるような機会や取組を支援する。	8,300			○	森林政策課
64		緑化普及啓発事業	緑化功労者表彰、全国植樹祭等への参加、緑化普及啓発	388			○	森林政策課
65		森林・山村多面的機能 発揮対策事業	森林所有者や地域住民等が協力しておこなう森林保全活動および山村地域の活性化に資する取組を市町との協働による推進する。	500			○	森林政策課
66		「山を活かす、山を守る、山に 暮らす」都市交流モデル事業	魅力発掘交流、山村都市マッチング、就労実践等	15,000			○	森林政策課
67	新規	全国植樹祭開催準備事業	2021年度全国植樹祭開催に向けた実行委員会設立等の準備	12,100	○	○		森林政策課
68	新規	山で育つ「森のようちえん」 普及事業	里山等の森林空間をフィールドとして子どもたちが活動する「森のようちえん」を周知するため、体験イベントとフォーラムを開催する。	500			○	森林政策課
69		森林環境学習事業	時代を担う子供たちが、森林への理解と関心を深めるとともに人と豊にかかわる力を育むため、学校教育の一環として、県内の小学4年生を対象に、森林環境学習施設およびその周辺森林で体験型の学習等を実施	110,229	○	○		森林政策課
70		陽光差し込む 健康な森林づくり事業	適切な森林管理を支援し、森林吸収源確保等、多様で健全な森林づくりを推進	388,990	○		○	森林政策課 森林保全課
71		次世代の森創生事業	森林の適正な管理や更新を確保するとともに、森林を次世代へ健全な形で継承する施策、取組を支援する。	13,000	○		○	森林政策課 森林保全課
72		森林を育む間伐材利用 促進事業	間伐材を搬出・利用することで、資源の循環とCO2固定による地球温暖化防止に資する。	65,134			○	森林政策課 森林保全課
73		合板・製材生産性 強化対策事業	合板・製材加工場に向けて原木を安定的に供給するための間伐材の生産および路網整備の推進。	0			○	森林政策課 森林保全課

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しぐみ	関わる しぐみ	続ける しぐみ	
74		補助治山事業	保安林の目的を達成するために必要な治山施設および森林を整備	1,550,000			○	森林保全課
75		単独治山事業	森林の公益的機能維持のため、必要な治山施設の整備等を実施	78,000			○	森林保全課
76		森林病虫害等防除・森林資源の保護推進事業	森林病虫害獣の被害防除	26,442			○	森林保全課
77		里山リニューアル事業	里山の防災機能や獣害防止機能の強化を図り、地域住民の共助による管理等を支援	39,500		○	○	森林保全課
78		補助造林事業	森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために計画的に行う間伐等の森林整備に対する支援	830,610			○	森林保全課
79		単独造林事業	資金の貸付けや優良種苗の確保等により、適正かつ円滑な森林整備を推進	350,383			○	森林保全課
80		補助林道事業	効率的な林業経営の展開や森林の適正な維持管理等に資する林道の整備	142,313			○	森林保全課
81		単独林道事業	効率的な林業経営の展開や森林の適正な維持管理等に資する林道の整備	5,000			○	森林保全課
82		次世代苗木生産システムの構築事業	苗木生産施設等の整備に対する支援。	0			○	森林保全課
83		単独間伐対策事業	健全な森林の造成と森林資源の有効活用を図る	38,307			○	森林保全課
84		滋賀ウォーターバレー・水環境ビジネス推進事業	産学官民連携のプラットフォームである「しが水環境ビジネス推進フォーラム」の活動を基盤として、高い成長が見込まれるアジア市場を重点に、県内企業が行う実現可能性調査や海外の水環境ビジネス企業の招聘を行うなど、販路開拓支援を強化するほか、水環境ビジネスに係る人材育成に取り組む。	41,224		○	○	商工政策課
85		びわ湖環境ビジネスメッセ開催事業	環境への負荷を軽減する製品や技術、サービス等を展示する環境産業総合見本市を開催する。	10,000		○	○	モノづくり振興課
86		日本遺産・琵琶湖魅力発信事業	日本遺産を構成する文化財を中心に、「水の文化」を軸とした地域ならではの素材を活かし、観光ルートの開発や情報発信、地域のおもてなし環境の整備を推進	4,100	○	○		観光交流局
87		観光イベント推進事業	花火大会への補助を通じて夏の観光客の誘致と湖国滋賀のイメージアップを図る。	24,500		○		観光交流局
88		おいで～な滋賀体感フェア事業	「イナズマロックフェス」において「おいで～な滋賀体験フェア」を開催、体験型観光をPRするブースを設置等	1,182	○	○		観光交流局

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しくみ	関わる しくみ	続ける しくみ	
89		ピワイチ観光推進事業	「ピワイチ」を安全で快適に誰もが楽しめるコンテンツとして確立させるとともに、県内全域への自転車による周遊観光を推進することを通じて、交流人口の増加を図り、地域活性化へつなげる。	19,817	○	○		観光交流局 ピワイチ推進室
90		「世界農業遺産」プロジェクト推進事業	「世界農業遺産」の認定に向け、申請書作成や農水省専門委員による審査への対応を行うとともに、シンポジウムの開催などの情報発信により、県民の認知度向上と気運の盛り上げを図る。	10,000	○	○	○	農政課
91		環境こだわり農業支援事業	環境こだわり農業の実践に加え、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む場合に、国、市町とともに支援を行う。	555,626			○	食のブランド推進課
92	新規	「オーガニック・環境こだわり農業」推進事業	オーガニック農業など琵琶湖等の環境保全、安全・安心な農産物供給につながる高度な取組へのステップアップを進めるため、オーガニック米の安定栽培技術の普及、販路開拓およびブランド化を図る。	7,500	○		○	食のブランド推進課
93		「日本一の環境こだわり農業」発信事業	滋賀県の環境こだわり農業の取組面積が日本一で、生産者が琵琶湖のために努力していることを県内外に発信し、環境こだわり農産物のブランド力向上・消費拡大を図る。	5,700	○			食のブランド推進課
94		水産基盤整備事業 (ヨシ帯造成、砂地造成、セタシジミ種苗放流)	コイ科魚類の産卵繁殖場であるヨシ帯を回復させるとともに、セタシジミの産卵繁殖場となる砂地を回復させ、水産資源の増大を図る。併せて草津市志那沖の砂地造成漁場において、セタシジミ種苗を放流する。	373,833			○	水産課
95		びわ湖めぐみ消費拡大PR事業	「琵琶湖八珍」をはじめとする湖魚をより身近に魅力的に感じることのできる機会を創出および事業者参画を促進することにより、湖魚の消費拡大・ブランド化を図る。	19,346	○	○		水産課
96		流通対策 (水産課)	県内産魚介類の消費の拡大や付加価値の向上、「びわサーモン」のイメージアップ活動や生産者が行う消費促進活動を支援するとともに、琵琶湖産淡水真珠の振興に取り組む。	900		○	○	水産課
97		有害外来魚ゼロ作戦事業	外来魚の捕獲、捕獲した外来魚の有効利用および効果的な駆除技術の開発などを行う。	55,682			○	水産課
98		資源管理体制高度化推進事業	対象魚種の資源や漁獲状況の調査を行う。	1,870			○	水産課
99		カワウ漁業被害防止対策事業	カワウの食害による漁業被害を軽減させるため、営巣地においてカワウの捕獲を行うとともに、飛来地において花火や防鳥糸等による被害防除を行う。	14,598			○	水産課
100		ニゴロブナ栽培漁業推進事業	水田を利用した種苗生産放流と大型種苗放流によりニゴロブナの資源回復を図り、その放流効果を検証する。また自然再生産による資源回復を目的として、水田地帯に産卵のため回帰するニゴロブナの再生産を助長させる技術を開発する。	24,381			○	水産課
101		多様な水産資源維持対策事業	琵琶湖固有のサケ科魚類であるビワマスと、ダムにより天然資源の添加がなされていないウナギについて種苗放流を実施し、重要水産資源であるビワマスとウナギの資源の維持を図る。	6,257			○	水産課
102		アユ等水産資源維持保全事業	琵琶湖総合開発事業の一環として設置された安曇川および姉川人工河川を効果的に設置することにより、琵琶湖およびその周辺水域のアユ資源の安定的な維持培養を図る。	45,262			○	水産課
103		セタシジミ親貝放流技術開発事業	琵琶湖北湖におけるセタシジミ親貝の放流による資源造成技術を開発する。	1,248			○	水産課

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しくみ	関わる しくみ	続ける しくみ	
104	新規	固有種ゲンゴロウブナで学ぶ琵琶湖再生事業	水田を活用した種苗生産放流により、ゲンゴロウブナ稚魚を水田から放流するとともに、「うみのこ」乗船の小学生にゲンゴロウブナの放流体験を提供する。	2,530	○	○	○	水産課
105		種苗放流促進事業	河川漁業の振興を図るため、アユ、アマゴ、イワナの種苗を河川漁場に放流し、資源の維持・増大に努める。	3,000		○	○	水産課
106		川の魅力まるごと体感事業	河川漁業について県民の理解と関心を高めるため、親子を対象に川の楽しさ(釣る、食べる、見る(景観)等)を丸ごと体感するとともに、河川漁協の役割について学ぶ体験学習会を開催する。	1,280	○	○	○	水産課
107		しがの漁業担い手確保事業費	漁業に関する情報提供、短期研修制度の構築による新規就業希望者の受け入れ体制の整備等	7,500		○	○	水産課
108		水産業改良普及事業	水産業の担い手自身の情報発信力・販売力の向上を図るとともに、湖産魚介類のファンを広げ、地産地消に支えられた水産業の持続的発展につなげる。	380	○	○	○	水産課
109		ホンモロコ資源回復対策事業	水田を活用してホンモロコ種苗の生産・放流を行う。	8,778			○	水産課
110		琵琶湖漁業再生ステップアッププロジェクト事業	南湖では水草除去や外来魚駆除、種苗放流による水産資源の回復、漁場再生を図るとともに、北湖では産卵繁殖場の機能改善による水産資源の増大を図る。	54,072	○	○	○	水産課
111		養殖場防疫・疾病対策事業	冷水病の予防、治療および冷水病菌の完全除去技術の確立	6,660			○	水産試験場
112		琵琶湖生態系修復総合対策研究	生物多様性に配慮しながら、琵琶湖の生態系を総合的に修復する技術を開発する。	2,160			○	水産試験場
113		アユ資源・漁獲情報発信高度化研究	漁獲による資源消費過程の解明や減耗要因の分析、科学計量魚探を用いた資源・漁獲動向予測、沿岸水域での生息状況把握手法の開発、ふ化日組成把握の精度向上	5,021			○	水産試験場
114		魚類等増殖環境評価調査研究	琵琶湖再生法に関する各種施策の検討および実施に向けて、南湖で行われた各種環境改善事業に係る底質の富栄養化状況モニタリングや湖辺に残存する内湖的環境水面の利活用に向けた調査研究を行う。	1,006			○	水産試験場
115	新規	セタジミ種苗生産放流高度化技術開発研究	セタジミ親貝の人工飼育技術を開発することによって肥満度の低下した親貝の確実な肥育と成熟制御を可能にし、採卵期間の延長と卵質の向上によって種苗量産の効率をさらに向上させる。	1,150			○	水産試験場
116		外来魚駆除対策研究	オオクチバスの「リバウンド現象」の原因解明と未成魚駆除技術の開発、および新たな外来魚の現状把握と駆除技術の開発を行う	3,751			○	水産試験場
117		漁況予報調査研究	産卵状況や稚稚魚生息状況、湖中魚群分布状況、漁獲状況調査および漁獲魚体型測定などを行いアユの資源状況を把握する。	1,824			○	水産試験場
118		漁場環境調査研究	漁場環境の動向を定期的に把握するとともに、突発的なプランクトン異常発生や魚介類の異常斃死事故の調査、指導を行う。	711			○	水産試験場

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しくみ	関わる しくみ	続ける しくみ	
119		特産マス類資源の保全と活用に関する調査・研究	在来マス類資源の増殖技術およびビワマス養殖業へ普及できる養殖技術を開発する。	1,222			○	水産試験場
120		水産試験場一般公開	研究発表と研究パネル展示、滋賀県の魚介類展示、魚つかみ体験、湖魚の試食	51	○	○		水産試験場
121		都市農村交流対策事業	各地で取り組まれている地域資源を活用した都市農村交流活動(農泊)の受入体制整備および魅力向上を目指した研修や活動内容等に関する情報発信を通じて都市と農村との交流を促進し、地域住民等が主体となった持続可能な農村地域の振興と都市住民の農業・農村に対する理解の向上を図る。	2,645		○		農村振興課
122		しがの里をめぐるものがたり応援事業	観光交流局が推進している地域のDMO形成と連携し、農村の地域資源を活用した取組を観光資源として磨き上げパッケージとしてPRするとともに、受入れ体制を整備することにより県内の周遊観光の一翼を担い交流人口の増加を図ることで、それらの取組を農泊の取組へと拡大することを目的に事業を実施する。	650		○		農村振興課
123		魚のゆりかご水田推進プロジェクト事業	魚のゆりかご水田プロジェクトを持続可能な取組とするため、現地で必要となる支援や魚のゆりかご水田米の認証に関する調査・支援を行う。	182			○	農村振興課
124		琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト補助金	魚のゆりかご水田など「豊かな生きものを育む水田」の取組を拡大するため、活動組織のネットワーク化や出前授業、PR活動等を行う。	3,549	○	○	○	農村振興課
125	新規	「豊かな生きものを育む水田」取組拡大支援事業	「豊かな生きものを育む水田」の取組拡大のため、活動組織を対象とした研修等を実施する。	270			○	農村振興課
126	新規	みどりのみずべの将来ビジョン作成事業	琵琶湖の魅力をもっと活かすため、琵琶湖において保全・利用・活用するエリアを区分しそれぞれのエリアで保全・利活用の方策を検討する。また、湖岸緑地等においてPark-PFI制度を活用し民間活力により地域の賑わいを創出する方策を検討する。	20,000		○	○	都市計画課
127		県営都市公園湖岸緑地で行う「琵琶湖を知る」自然観察会	魚釣りゲーム(紙で作った琵琶湖の魚を磁石で釣る、擬似魚釣り)、外来魚釣り体験、流木アートやヨシ笛作りといった、体験イベントを、年間を通して実施し、琵琶湖の環境や現状を知ってもらい、関心・興味を持ってもらう機会を提供する。	0	○	○		都市計画課
128		県営都市公園湖岸緑地の利用マナー向上を促す啓発活動	バーベキュー利用者をはじめ公園利用者に「ゴミの持ち帰り」を呼びかける啓発活動を行い、琵琶湖周辺の環境美化に取り組む。	0			○	都市計画課
129		淡海の川づくりフォーラム	“川や水辺と共生する暮らし”、“川や水辺と私たちのいい関係”について、川や水辺にまつわる活動を実践されている皆さんとともに、公開選考方式のワークショップを通じて、それぞれの交流の中で議論を深め、探る。	0	○	○	○	流域政策局 広域河川政策室
130		ビオトープ自然観察会	ビオトープに対する理解を深め、人と自然のかかわり方を体験的に学ぶため自然観察会を開催する。	0		○		流域政策局、 河川・港湾室
131		琵琶湖森林づくりパートナー協定	水源かん養機能を高めるための森林づくり活動を通じて、水源周辺での環境保全活動を実施	300			○	企業庁経営課
132		環境教育副読本「あおいびわ湖」等の活用	各学校における環境教育を充実・推進するために、環境教育副読本「あおいびわ湖(小学校編)」「あおい琵琶湖(中学校編)」「琵琶湖と自然(高等学校編)」を活用する。	0	○	○		幼小中教育課
133		びわ湖フローティングスクール事業	学校教育の一環として、県内小学5年生を対象に、母なる湖・琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を使った宿泊体験型の教育を展開し、環境に主体的にかかわる力や人と豊かにかかわる力を育む。	260,049	○	○		幼小中教育課

番号	新規	事業名	概要	予算額 (千円)	事業の性質			担当所属
					知る しくみ	関わる しくみ	続ける しくみ	
134		琵琶湖に学ぶ小学生 交流航海事業	琵琶湖の大切さについて滋賀県および近隣府県の児童が交流しながら学習船「うみのこ」に乗船し、直接琵琶湖に触れて水環境を共に考え学び合う活動を通して琵琶湖の保全および再生といった環境問題への理解と関心を深める。	0	○	○		幼小中教育課
135		「地域の力を学校へ」推進事業	「しが学校支援センター」を設置し、地域の人々や企業・団体・NPO等が、それぞれの持つ豊富な知識や経験を生かして、環境学習など学校教育の場で活動できるしくみづくりを推進する。	2,756	○	○	○	生涯学習課
136		地域教育力活性化推進事業	家庭や地域の教育力の向上に向けて、子どもの体験活動の機会と場の充実を図る。自然体験活動を企画する機関・団体では、琵琶湖等での活動が展開されている。	38		○		生涯学習課
137		女性団体活動推進事業	女性の生涯学習を総合的に推進するため、滋賀県地域女性団体連合会および一般財団法人滋賀県婦人会館が行う事業に対して補助する。例年琵琶湖の環境に関する内容について学ぶ研修会を開催。	720		○	○	生涯学習課
138		地域づくり型生涯カレッジ推進事業	学びによる地域の活性化を図るため、市町が実施する絆づくりや地域づくりに結びつく学習機会提供の取組を推進する。環境面から地域づくりを考えることも一つの切り口として講座が実施されている。	1,126		○	○	生涯学習課
139		学習情報提供システム整備事業	学習情報提供システム「におねっと」による、インターネットでの学習情報の提供および学習相談を行う。	4,799		○	○	生涯学習課
140		生涯学習推進事業	生涯学習に関する情報を県民に一元的に提供する「しが生涯学習スクエア」を運営する。また、生涯学習に関する情報収集・提供・相談および協働のコーディネートを行う。	907		○	○	生涯学習課

新規 10

合計 7,080,843 60 77 88